

大船渡だより

発行人 諏訪榮治郎 編集 深堀崇・谷口広海
 支援金 郵便振替口座：00950-5-20935 カトリック大阪大司教区
 *通信欄：「大阪教会管区大船渡プロジェクト」
 銀行口座：三井住友銀行玉造支店 普通預金 0587830
 大阪教会管区プロジェクト 代表役員 池長潤

はじめまして。カリタス大船渡ベース地の森憩いの家です。いつも皆様からの温かいご支援とご協力、さらに惜しみないお祈りを頂いておりますことを心より感謝申し上げます。

東北大震災から2年が経ちました。皆様からの変わらないお心遣いを力強く感じています。遅くなりましたが、現地の状況を知っていただくために、「大船渡便り」という形でみなさまにご報告させていただきたく、毎月発行に努めて参ります。

第1回の今回は、3月11日に行われた大船渡教会での仙台教区平賀司教様の司式による東日本大震災犠牲者追悼と復興祈願ミサについての光景や、大船渡市内での様々な様子をお知らせしたいと思います。

3月11日に大船渡教会で仙台教区平賀司教様の司式による東日本大震災犠牲者追悼と復興祈願ミサが13時半より行われました。

ミサには平賀司教様のほかに、大船渡教会主任の森田神父様、外国人支援センターのギャリ神父様、また、長崎教区の中尾神父様も参列されました。ミサは荘厳な雰囲気で行われ、平日にもかかわらず、教会の信徒の方や、ボランティアの方など多くの方が参加されました。



再植された高田松原の一本松
 「希望の一本松が地域の方の心に火をともしものとなりますよう」

遠い地域があるのも現実です。今、私たちに必要なことは何か。私たちができることは何か。私たちがすべきことは何か。毎日のように自問自答しながら、活動する日々が続いています。

今回は、カリタス大船渡ベースの一日の流れを紹介します。

まずは朝7時よりベース近くの大船渡教会にて朝ミサが行われます。もちろん、これは自由参加ですが、ボランティアの方で信徒の方が多い時はみなさん参加されています。そして8時15分から朝のミーティングが行われますが、それまでに朝食を食べ、外での活動の方はお昼のお弁当の準備をします。朝のミーティングでは活動内容とメンバーの確認、昼食の有無、夕食の有無などの確認を行い、みんなであいさつをして終わります。その後、ベース内の清掃を行い、9時にはそれぞれの活動へと向かいます。



大船渡教会越しに臨む大船渡市 仮設の建物ばかりで、いずれは取り壊されるものばかり

一日の活動を終え、ベースに戻り一休みした後、まずはその日の活動内容を項目ごとにまとめます。そして、夕方17時にそれぞれの活動報告を全員で行います。それから、その日に起こった出来事、出会った人々のことを思い起こし、自分の心と向き合う時間を設け、それを分かち合う時間を作っています。ボランティアの人数が多いときには少人数のグループに分けて行います。大船渡ベースではこの時間を大切にしています。この分かち合いを終えると、被災の犠牲者や行方不明の方を想い、また、明日への希望の光を見つめる意味も込めて、1本のローソクに火を灯し黙祷をささげます。



3月11日の黙祷風景 「2年経過した被災地で、亡くなられた人、悲しみが癒えない人のことを思い祈る」

その後は、みんなで夕食をとり自由にリラックスの時間が流れます。ある人はテレビを見、ある人は本を読んだり、談笑をしたりなどして時間を過ごします。中には、夜の大船渡の飲食店へと出かける方もいらっしゃいます。そして23時には完全消灯をし、1日の活動は終わりを告げます。



平賀司教によるミサ

ミサの中で平賀司教様は「希望」という言葉を強調されました。御言葉の祭儀で読まれたシラ書(17章1-14)、ローマ教会への手紙(5章 1-11)、マルコ福音書(13章32-37)から、私たちは信仰によって希望を持ち続けることができることを述べられました。「目を覚ましていなさい」は「希望をいつも新たにしていなさい。」ということであり、苦しい現実の中にも私たちの前に希望を用意して下るということを強調されていました。また、共同祈願のなかでも、「はつらつとした笑顔、あふれ出る勇気をお与えください。」という願いを祈られていました。震災発生時の時間には教会の鐘をならし、お御堂の中、マリア像の前など様々な場所でお祈りをされていました。

また、大船渡市内で行われた追悼式典のひとつとして、盛町のリアスホールで市主催の追悼式が開かれました。式は政府主催追悼式をスクリーンに投射しながら進められ、静かな雰囲気の中に式が進められました。こちらと同じく、震災発生時に1分間の黙とうをささげ、市長の式辞などの後に献花が行われました。献花を行う際、堪え切れず涙を流す人、じっと堪える人、夫婦抱き合う人など多くの人の想いがにじみ出ていました。



陸前高田市 解体中のホテル「キャピタル1000」
 高台移転の為、海に近い所の建物は壊れています。

また、大船渡市内で行われた追悼式典のひとつとして、盛町のリアスホールで市主催の追悼式が開かれました。式は政府主催追悼式をスクリーンに投射しながら進められ、静かな雰囲気の中に式が進められました。こちらと同じく、震災発生時に1分間の黙とうをささげ、市長の式辞などの後に献花が行われました。献花を行う際、堪え切れず涙を流す人、じっと堪える人、夫婦抱き合う人など多くの人の想いがにじみ出ていました。

震災後から2年目が経ち、昨年とは地域の様子も少し変わった印象を受けました。「前を向く」東北の人々の姿が本当に印象的でした。平賀司教様の言われた通り、この「希望」という言葉の意味を噛みしめる一日となりました。私たちもこの東北の地で復興に向けて、みんなで協力し、地域に根差した活動を目指していこうとの決意を新たにしました。

東日本大震災から3年目を迎えた今、復興は進んできてはいますが、まだまだ被災地に暮らす人々の心には多くの想いが残り、復興とは程

カリタスジャパン大船渡ベース いこいの家 <e-mail> ofunatobase@gmail.com
 <住所> 岩手県大船渡市大船渡町地ノ森43-2 <電話番号> 0192-47-4737
 <URL> http://ameblo.jp/ofunatobase/